

いまは冬休みで友達の家から報告書を書いています。前回の報告書を書いてから Thanksgiving, Final exam, Final project, 春学期の履修登録, Christmas, New Year's Day などのイベントが多い 2 か月間でした。もう半分まで来てしまったのかとあっという間にも感じますし、いろいろな体験を振り替えると、とても濃く充実した日々を過ごすことができているようにも感じます。

食

学校では食堂のビュッフェやミール交換ができる Chick-fil-A や Slim chickens などのフライドチキン、バーガーやメキシカンなどを食べる人が多いです。友達（というかアメリカ人大半）がジャンキーなものが好きなので少しでもヘルシーなものを選ぶようにしています。アメリカの食べ物はどれもおいしいですが、油、塩、砂糖、など単純な味が多いので、時々複雑な手の込んだ味が恋しく感じます。週 10 回のミールプランをとっているのですが、一日 2 回食べたとしても週 5 日間しか食べられないのでいろいろなイベントに参加してフリーフードをゲットしています。アフリカの Gala というイベントやインドの Diwari というイベントなどで初めて食べる料理のスパイスの複雑な味がなぜか懐かしく、おいしく感じました。

また冬休みは友達の家や英語の先生の家にお邪魔させていただいて毎日めちゃくちゃおいしい愛情のこもったご飯ご飯を沢山食べて太りました。



気候

冬になり一気に寒くなりました。アーカンソーは内陸の州なので一日の気温差が激しいです。また日ごとの気温差も激しく、-20°Cにまで行くときもあれば、次の日に 15°Cになったりします。暖かい空気のところに内陸で冷やされた冷たい空気が流れ込むので、雨（雪）が降ると一気に寒くなるなど、寒暖差や雨などの天気が内陸から変化することが海から変化する日本とは異なり新鮮に感じます。



大学

12月12日から16日にかけて期末テストがありました。期末テストがない授業も期末レポートなど大変な課題が多く、配点も大きいので冬休み前の二週間は勉強が忙しく図書館などにこもって勉強をしていました。たくさんの学生が図書館や大学施設などにこもって勉強をしているので職員さんたちがお菓子やコーヒー、ホットチョコレートなどを無料で配って勉強を応援していました。学生たちは将来のキャリアをあげるために大学に来ている人が多い印象です。友達たちの成績へのこだわりが凄かったです。

Thanksgiving

日本ではあまり有名ではない休日の Thanksgiving ですがアメリカではとても大きな休日です。もともとはイギリスからアメリカに渡ってきた人たちが新しい土地での初めての収穫を神に感謝をしたことが起源で、栽培方法を教えてくれた先住民であるネイティブアメリカンを招き一緒に祝ったとされていますが、ネイティブアメリカンからみると違うみたいだよとホストファザーに教えてもらいました。Thanksgiving は all about food! 一日中作っては食べるという最高の休日です。僕はホストファミリーと親戚たちと一緒に過ごしました。ターキーやクランベリーソース、マッシュドポテトや Green bean casserole, パンプキンパイをお腹一杯食べました。どれもとてもおいしかったです。七面鳥に含まれるトリプトファンという物質が眠気を誘うらしく眠くなりリラックスした休日を過ごしました。



Christmas

クリスマスは親友が大学から 3 時間離れた家に連れて帰ってくれたので、友達の家で過ごしました。イブの夜と 25 日の朝は教会に行きました。教会では神父さんの話を聞いたり、クリスマスの歌を歌いました。また 12 月 18 日には教会の後にトラックの荷台に乗って教会に来れない人たちや老人ホームを訪ねてクリスマスの歌を歌いました。少し変わった体験でしたが、訪ねた人たちはみなとてもうれしそうでその人の一日をよくすることができてうれしかったです。友達の家は田舎にあるのですが地域のつながりが素敵だと思いました。

プレゼント交換もクリスマスの大きな文化で、僕は5つもプレゼントをもらいました。クリスマスが近づくにつれてツリーの下のプレゼントが増えていって、クリスマスには床がプレゼントで埋まっていました。



冬休み友達の家

私は旅がとても好きで、アメリカのいろいろな国立公園や自然、街を見て回りたいと思っていますが、今回の冬休みは友達が家に泊まっていいよと言ってくれたので留学ならではのことができることだと思い、2週間ほどお邪魔しました。アメリカではクリスマスをどのように祝うのか、どんな朝ごはんを食べてどんな生活をしているのかに興味があったのでありがたかったです。友達が行くところに全部連れて行ってきて、彼の友人たちも紹介してくれてとても楽しい休日になりました。もっばらは遅く起きて筋トレをしてバスケなどのスポーツをして遅くまで映画を見るという一日ですが、イルミネーション、弟のバスケの試合やおばあちゃんの家、銃を撃ったり、ピアノを弾いたり、レストランに行ったりしました。アメリカの家族の休日はどうなのか知ることができて、ありがたかったですし、家庭料理はどれもおいしく、カロリーが高すぎるおやつなどを食べことも楽しかったです。



お正月

12月28日に友達の家を出て、島大で英語をオンラインで教えてくれていた先生に会いにフロリダに行きました。フロリダは冬でも毎日20度以上ととても暖かく湿っていて、見たことのない植物、動物がたくさんいるので散歩をするだけで冒険をしているようなとても心躍る場所です。カヤックや植物園、ファーマーズマーケットや教会、ビーチやディズニーのショッピング街などいろいろな場所に連れて行ってもらいました。31の夜は花火を打ち上げました。日本の花火よりも音も規模も大きく、近所の人々もたくさん打ち上げていて夜遅くでも窓から花火が見えました。基本的にはお正月と7/4の独立記念日には花火を打ち上げてもいいそうです。お正月の朝には教会に行きました。日本ではどのようにお正月や大晦日を過ごすのか紹介し、めんこや書初めをしました。フロリダのご家族はとても親切でフレンドリーで大好きです。ご家族全員がとても思いやりがあって、一人一人と沢山話しているいろいろなことを学びました。



考えたこと

この冬休みは二つのファミリーにそれぞれ2週間ほどお邪魔せてもらい、おもてなしをしていただいてとても楽しく、充実した幸せな時間を過ごさせていただきました。アメリカ人はどのようなものを食べてどのような生活を送って、家族や友達とどのように接するかを体験することもでき、ご近所さんとの付き合い方、思い出やいろいろなことに関する考えを聞いたり、休日や仕事の過ごし方、家族との会話などを見ることができ短い時間でしたが、寮生活からだけではわからないアメリカの文化を知ることができ、刺激的な休みになりました。お邪魔させていただいた二つの家庭は愛情あふれるとても素敵なお家族で幸せや人生について考えるきっかけにもなりました。

